

平成 30 年度例題：高校卒程度／専門（建築）

〔例題 1〕  $1+\sqrt{2}$  と  $1-\sqrt{2}$  の二つの値が解である 2 次方程式は次のうちどれか。

1.  $x^2 - 2x - 1 = 0$

2.  $x^2 + 2x - 1 = 0$

3.  $x^2 + 2x - 2 = 0$

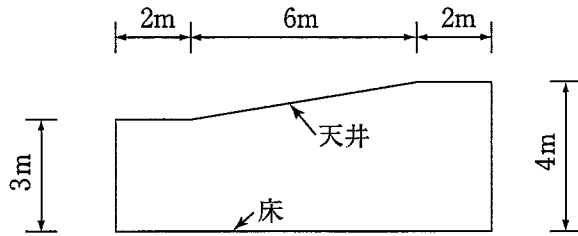
4.  $x^2 + x - 2 = 0$

5.  $2x^2 - 2x + 1 = 0$

〔正答 1〕

〔例題2〕 図のような断面をもつ居室の天井の高さを算定する場合、建築基準法上、正しいのはどれか。

1. 3.0m
2. 3.3m
3. 3.5m
4. 3.7m
5. 4.0m



〔正答3〕